

大震災から大変な苦勞がありました。

やさしさと安心、希望のある陸前高田へ

これからも市民とともに 日本共産党の提案

震災から8年。老後も安心して住み続けられ、他市から移住して子育てしたくなり、ごきわいと活気にあふれる、そんな希望ある陸前高田が求められているのではないのでしょうか。6月に行った日本共産党の市民アンケートへのご意見をもとに提案をまとめました。

子どもの医療費 すべて「窓口無料」に

● **学校給食費の軽減・無償化**
小学生までは「窓口無料」になりましたが、中学生、高校生にも広げます。
市内でも「子どもの貧困」と格差が問題になっていきます。学校給食費も義務教育の一環として軽減・無償化をめざします。

国保税の引き下げ、 子どもの均等割減免を

● **津波伝承館と道の駅を
多くの人が集う場に**
国営追悼施設、津波伝承館、道の駅を活用し、防災・減災を学び、陸前高田市の魅力を知ってもらおう。大拠点に。さらに、中心市街地を震災と防災学習、地元食材提供や交流イベントなどで、賑わいと活気をつくります。

県立病院の診療体制 充実、地域医療の推進

● **在宅家族介護手当(月6千円)の
支給を要介護5も対象に**
県医療局に県立病院の診療体制の強化を求めます。広田、二又診療所を地域の拠点として地域住民とともに盛り立てます。

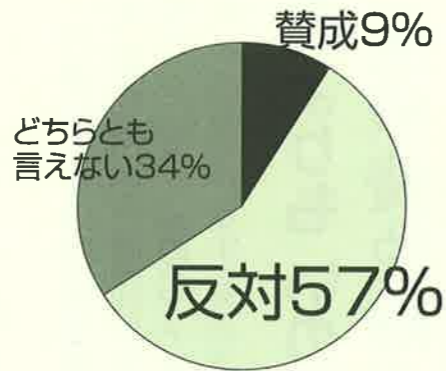
津波伝承館と道の駅を 多くの人が集う場に

● **本丸公園を誰もが訪れる防災公園に**
● **民泊修学旅行受入れ事業へ更なる支援**
● **若い技術者育成の職業訓練校の早期再建**
● **市民文化会館で親子映画会等を開催**

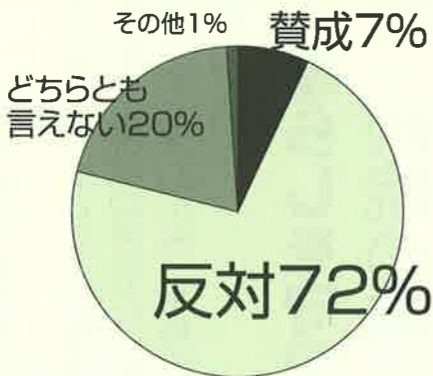
● **高齢者のために、見守り活動の継続や
補聴器の購入助成も**

陸前高田から 安倍政権に怒りの審判を!

市民アンケートでも民意はハッキリ



安倍9条改憲



消費税10%増税

6月から実施している日本共産党の市民アンケートより

